



今年は一味違っ!? きらり大旅行に行ってきました!



2026年3月

例年三月はきらり最大のイベント「きらり大旅行」を決定しており、その季節が今年もやってきました。

ただ昨年までは、五つの事業所が一つの目的地に向かい、そこで他事業所の児童との交流も楽しみながら過ごしてきましたが、今年度の担当者間の打ち合わせの中で「もっと一人一人の児童の思いを大切に、行き場所や過ごし方を検討していきたい」という意見が多数あがり、事業所毎の児童の希望を鑑みた結果、堺エリアは「神戸おとぎの国」、富田林エリアは和歌山にある「ポルトヨーロッパ」と、エリア毎に目的地を設定し進めることに決まりました。

またその中でもより児童同士の交流を図ることを目的に、事業所の垣根を越えてのグループ編成の検討を前日まで進めてきました。



堺エリアの大旅行当日は、残念ながらの雨模様でしたが、子どもたちは早速家から持ってきたお弁当を嬉しそうに友達同士で見せ合ったり、どのアト

ラクシオンに乗るかの相談をしていたりなど、悪天候もど吹く風で、全力で楽しもうとしている意欲が伝わってきました。

特におとぎの国の敷地内にある「神戸モンキーズ劇場」は、予約の段階からわくわくしている児童も多く、天候関係なく楽しめるイベントという事もあり、期待に胸躍りながらお猿さんの出演を今か今かと待ちわびていました。

いざ猿回しのショーが始まると、可愛らしいお猿さんのショーに、「キヤー」「すごい、お猿さんが綱わたってる!」と声援が鳴りやまずで、大満足のメインイベントを堪能することができました。



翌日に富田林エリアも出発し、こちらは昨日とは打って変わって晴天に恵まれました。

錦織ルームは昨年の日帰り旅行でもポルトヨーロッパに行っており、二回目として参加している児童も多く、ウキウキルームの児童に、「これやったら怖

くないよ」「一緒に付いてきて」と、年上としての経験を活かして関わりを持ってくれている姿がとても印象的で頼もしさを実感しました。

ポルトヨーロッパが海辺に面しているという事もあり、昼食後は海辺で友だち同士で語り合う様子もあり、非日常的な経験を送ることを楽しんでいました。

また今回は絶叫系の乗り物が怖くて乗ることの出来なかった児童も、「OOちゃんと一緒にから今日は乗ってみる!」と言って挑戦しようとする様子もあり、子どもたちにとって、改めて「友だち」という存在がいかに大切なのかを考えさせられ、そのチャレンジ精神は、きっと後々の成長や自信に繋がっていくと信じています。



来年度も子どもたちにとって、より満足感を得ることが出来る「きらり大旅行」を追い求めていきたいと思えます。